

樟彩

～ 岩田学園だより 2024年11月号 ～

2025年度 週休2日制導入の決定について

校長 児玉 洋司

先日の授業参観およびクラス懇談会における全体会(体育館)でお伝えした「週休2日制導入」の概要について、改めてご報告いたします。

1. 週休2日制導入について

本校では、2025年度より週休2日制を正式に導入することを決定いたしました。この決定は、保護者の皆様への説明会やアンケートを経て、多くのご意見を参考にし、理事会および評議委員会で慎重に審議した結果です。多くの賛同をいただき、子どもたちの学習環境向上や家庭での時間確保に寄与する重要な施策と確信しております。

2. 補足説明と学校の方針について

(1)土曜登校

来年度も、土曜日に行事がある回数は、学年により10～15回程度を予定しています。また、希望者模試や各種検定等を受験、受検する際は土曜登校がさらに加わることになります。

(2)教職員の決意

教職員は今回の決定について、単に土曜日の休みが増えることを喜ぶという感覚で受け止めてはおりません。むしろ、教育活動をさらに充実させる責任を実感しており、授業力の向上、生徒一人ひとりの心に寄り添う支援、そして夢を育むことに対して、大きな課題とやりがいを感じております。また、「成績不振の生徒について、土曜日を学校で指導しなくてよいのか」というご意見もありました。これに対して、私たち教職員が、もっとも大切にしているのは「自主性」や「自己解決力の育成」です。そのため、休日である土曜日に、成績不振の生徒を学校で管理することは、方針と

して優先しておりません。生徒自身のやる気と行動力を引き出す支援を第一に考え、取り組んでまいります。

(3)自主性を育む教育

本校が目ざす「自主性の育成」は、単に生徒を管理するのではなく、主体的に考え行動する力を伸ばすことにあります。先日行われた中学2年学年集会(11月12日)では、「自主性」をテーマに話し合いを行いました。ここに、生徒たちの成長の一端をご紹介します。

①生活習慣や勉強への姿勢を変えていかないといけないと思った。

②4回以上復習することで内容が長期記憶になる。

授業日(1回目)→次の日(2回目)→土日(3回目)→1ヶ月後土日(4回目)

③土日に1週間の復習をすることが成功した人の勉強だと教わりました。

④スタディサプリなどを駆使して、予習および復習をしていきたい。

⑤家での勉強時間を増やし、しっかりと復習と予習をしたい。

⑥今までぜんぜん課題を出せていなかったけど、話を聞いて課題を毎日しようと思った。

⑦わからない問題を、すぐあきらめず、どんないろんな先生方に

質問に行くなど、取り組み方・向き合い方を知ることができました。

⑧これからの勉強や将来についての考え方が変わりました。

⑨グッと大きな感情のこもった釘を心に刺されたような感覚で、

気持ちが変わったような気がしました。

⑩どうせやっても無駄だと、逃れる言い訳の

ために思っていました、「できない」ではなく、「やらないからできない」と言う言葉に納得し、一番深く心に刺さりました。

3. おわりに

私の子どもたちもこの岩田学園で学び、多くのことを経験して成長してきました。本校の教育のおかげで、それぞれの道を歩んでいることに深く感謝しております。今回の週休2日制導入は、子どもたちがより豊かな学びを得るための施策です。これを機に、教職員一同、教育活動の質を一層向上させるべく努めてまいります。授業力向上のための研修を積極的に実施し、生徒一人ひとりの心に寄り添い、彼らの夢の実現を全力で支援してまいります。

目次	p
校長より	1
夏の対外模試講評	2
第40期生徒会長選挙	2
あしなが学生募金	2
高1 九州大学見学へ	3
中3 三浦造船・山田水産見学へ	3
部活動結果報告	4
保健室より	4
教育実習生より	4
学校評価アンケート	5
表彰・お知らせ	5

～夏の対外模試講評～

進路主任 中川 真司

7月上旬に中3～高2が受験したベネッセ総合学力テストの成績結果および高校3年生の近況についてご報告いたします。

中学3年生（40回生）

初めて進研模試を受けた中3ですが、4月のスタディサポートから7月の進研模試にかけてGTZがアップした生徒が全体の50%にあたる39名いました。維持した生徒を含めると、全体の3分の2以上の生徒が学習到達度を向上または維持しています。本校の中3は一般の高1と同じ模試を1年早く受験しており、例年、中3と高1の同じ時期の模試を比べると、1年間で平均して1～2ゾーンのランクが上がります。このまま11月、1月、そして高1の7月進研模試に向けて40回生の今後の伸長が期待されます。

高校1年生（39回生）

中3の同時期に受験した模試の結果と比べると、S～Aゾーンの割合が34%増加し、C～Dゾーンの割合が24%減少しており、全体として順調に学力を伸ばしています。夢ナビライブや九大見学などを通して「大学・進路」を意識し、学習に対するモチベーションが高まってきた生徒も増えていきます。これから生徒会活動や部活動などで学校の中心となる立場です。学習面でも全校を引っ張っていくという自覚を持ち、さらに学力を向上させてくれるものと期待しています。

高校2年生（38回生）

Sゾーンの割合は例年並みの11%、A3以上の割合が32%でした（直近5年間のA3以上の割合平均は40%）。B2以上の割合が57%と過去回生と遜色ない値であり、現在B1～C3にいる生徒の頑張りや学年全体の学力アップに繋がると期待されます。少ない人数ながら、中心学年として体育大会や学園祭を成功に導いた団結力・実践力のある学年です。3学期を高3（受験学年）の0学期と位置付け、スタートダッシュを期待します。

高校3年生（37回生）

共通テストまで2ヶ月を切りました。2021年度入試から「大学入学共通テスト」に名称が変わり、「知識・技能の確実な習得」に加え、「思考力・判断力・表現力」も問われるようになりました。対話文形式の出題による問題分量の増加と、読解力・情報処理能力が一層問われることとなりました。また、2025年度入試より新課程入試となり、共通テストにおいても「情報Ⅰ」の追加、「地歴公民」の科目変更、「国語」の大問数+1、「数学」のⅡB→ⅡBCへの変更など、大きな違いがあります。そのような中、「受験は団体戦」を合い言葉に、早朝から夜遅くまで受験勉強に励んでいます。何事にも明るく前向きに取り組む37回生ですから、残りの2ヶ月で必ず夢をつか

んでくれるものと期待しています。以上、模試結果などの報告でした。11月上旬にはベネッセの第2回学力推移調査（中1、2）や、12月には11月総合学力テスト（中3～高2）の結果が出ます。また、中1から高2は来年1月にも模試が予定されています。「模試は受けるだけ」「成績は見ても一喜一憂するだけ」では模試を受ける甲斐がありません。順位や点数、志望校の判定も気になるでしょうが、分野別の出来不出来に注目し、次回の模試では今回取れなかった分野で結果を出せるように取り組んでください。進研模試デジタルサービスでWEB解説を見ることがができますので、ぜひ利用してみてください。また、スタディサプリの講義動画で苦手分野の復習をしたり、スタディプラスの学習記録から自分の家庭学習の質を分析したりすることも学力向上に有効です。模試や定期考査の直前だけでなく、日ごろからの取り組みを充実できるように、学年団とともに進路指導部も全力でサポートしていきます。

第40期生徒会長選挙

生徒会担当 河野 智治

11月14日（木）7限目、第40期生徒会長選挙が実施されました。今年是有馬瑠来さん、衛藤朗さん、田中公也さん、河野寛之さん、上杉知也さんの5名が立候補し、約1週間の選挙戦を戦いました。立会演説会は体育館にて行われ、各候補者はそれぞれの公約を掲げ、個性や人柄の分かる演説を見せてくれました。投票の結果、第40期生徒会長には上杉知也さんが選ばれました。以下は上杉知也さんの新任挨拶です。

「第40期生徒会長の上杉知也です。今回は過去に類をみない5名もの人数が生徒会長選挙に出馬しました。その中で皆さんに選んでもらい当選したからこそ、生徒会執行部の活動に熱意と責任を持って取り組んでいきたいと思います。頼りがいのある仲間たちと共に、皆さんの笑顔が少しでも増えるような学園を創り上げ、力強く前に進んでいきます。ゆっくり急げ！！（Festina Lente!!）」



4年3組 上杉知也さん

あしなが学生募金

特活主任 宮川 修一

本校生徒48名が、10月26日（土）に大分駅周辺で行われた「あしなが学生募金」に参加いたしました。募金活動は12時から18時まで行われ、集められた募金は病気や災害、自死などにより親を亡くした子どもたちの奨学金支援や、最も貧困が困難なアフリカのサブサハラ49カ国の遺児たちの支援に使われます。生徒たちは、募金活動を通じて地域社会に貢献し、将来に向けた大切な経験となりました。

【参加した生徒の感想より】

声を出して、知らない人たちに呼びかけるというのはとても緊張するのですが、財布に入っている小銭をすべて募金してくれたり、子どもたちが近づいてきてこれ何？と興味を持ってくれたり嬉しかったことばかりでした。（中2女子）

今回のボランティア活動を通じて、すごくやりがいを感じたし、自分の活動が誰かの助けになっていると思うと嬉しい気持ちになりました。（高1女子）
初めての募金活動だったが考えていたよりもずっと多くの人が募金をしていて温もりを感じた。（高2男子）
募金活動は思った以上に難しく、中々集まらない募金に心が挫けそうになりました。その分、募金をしていただいた時の喜びと感謝の想いが大きかったです。このあしなが学生募金は全国で開催されており、ネットでの募金も行なっているそうです。そして、億単位で募金が集まっているとボランティアの方が教えていただきました。自分自身ももっと募金活動に対する理解を深め、それを広げていきたいと思いました。（高2女子）

～高1 大学見学～

高1学年主任 立川 英季

IWATAコースは10/25（金）に九州大学見学に行ってきた。片道約3h（休憩含む）という強行軍、しかもバスは補助席まで総動員の満席状態（これが意外に生徒達には楽しかった模様）でしたが、施設見学・学食体験・模擬講義&ワークショップなどの体験を通して自分の将来像を描くきっかけにできたのではないかと思います。

[生徒の感想より]

- ・思ったより校舎が大きく、食堂がどこか探していたら優しく大学生が声をかけてくださり、どこに何があるかを教えてもらいました。模擬講義も普段あまりしない方法を用いてグループで話し合うことができ、とても楽しかったです。

- ・あまり大学にいる自分がイメージできませんでした。先日九大を見学して大学の雰囲気や大学生たちが楽しそうにしているのを見て大学生活をしている自分のイメージが湧いていい経験ができました。



～中3 社会見学～

中3学年主任 廣田 奈緒子

11月20日（水）に県南方面の社会科見学に行きました。最初に伺ったのは、三浦造船所です。社会科見学に先立って、11月2日（土）社会科見学に向けての事前学習として、岩田の卒業生である三浦造船所の三浦孝洋様（本校26回生）より、造船技術についての出張講義を受けました。今日はそこで学習したことを胸に、船の進水式を見学させていただきました。餅まきや厳かな雰囲気の中で神事など行われました。数多くの人に関わり、長い年月をかけて完成した船が「宇宙戦艦ヤマト」の音楽の中、海へ出航していきました。生徒たちは大変感銘を受けていました。

次に、佐伯歴史と文学の道を散策しました。城下町観光交流館や国木田独歩館など、現地のガイドさんの丁寧な説明のもと、佐伯の歴史を探訪し、文豪の足跡をたどりしました。散策の後には「さくら亭」でお楽しみの昼食です。私たちのために特別にエビフライ定食を準備していただきました。大きなエビフライをいただきながら、生徒たちは40回生の仲間たちとともに楽しい時間を送ることができました。

続いて訪れたのは、山田水産です。スタッフの方からの丁寧な説明を聞きながら、工場内を見学させていただきました。目の前でたくさんの魚がベルトコンベアーで運ばれていく姿を見ながら、生徒たちは熱心にメモを取り、スタッフの方々の話を大変興味深く聞いていました。その後、岩田の卒業生である山田水産の社長山田信太郎様（本校4回生）がご講演して下さいました。山田水産が水産業だけでなく、様々な分野に挑戦していることや、社長としての心構えやこれからの夢など、熱意のこもった話を後輩となる生徒たちへしてくださいました。また、山田水産が完全

養殖にチャレンジしているうなぎも実食させていただきました。社長の学生時代の話には知っている先生方の名前も登場し、ユーモアあふれる話に生徒たちの笑顔があふれた時間ともなりました。最後は40回生寮生を中心としたサプライズ！山田水産の社歌をダンスも交えながら歌い、最後は社長と円陣を組みながら、共にこれからの山田水産の発展、そして40回生の成長を誓い合いました。

最後に、岩田の卒業生である方々のご厚意で、今回の社会科見学を実施させていただくことができ、生徒たちは大変有意義な時間を送ることができました。改めて岩田の卒業生との絆を感じた社会科見学となりました。本当にありがとうございました。

【以下は生徒の感想です。】

- ・進水式の雰囲気や、大伸丸の大きさを見て、色々な人の思いや努力を感じて感動した。

- ・国木田独歩の世界観に触れることができ嬉しかったです。国木田独歩の家の屋根裏のようところで読書ができて、小窓のやさしい光と古い紙の匂いが、とても雰囲気があってよかったです。国木田独歩の本は、まだあまり読んでことがないので、これを機にもっと読んでみようと思いました。

- ・シラスウナギの不漁が続いていて資源保護の観点から見ても対策が急がれるうなぎの養殖において難易度が高い完全養殖を日本の食文化存続の為に自分たちの仕事だと考えて行動しているのがとても素敵だと思った。

- ・普段見られないようなものを見ることができて、とても良い機会になりましたし、視野を広げることができました。



～部活動等結果報告～

高校卓球部（女子）

11月9日（土）

第68回大分県高等学校新人大会卓球 @杵築文化体育館

女子シングルス 佐藤香音 0-3 敗退

第一セット、相手のミスもあり、先にセットポイントをとりましたが、その後4連続失点で、第一セットを失いました。ドライブが不調だったため、無理せず打ち返し、ラリーを続ける作戦でしたが、相手の選手も徐々にミスが減り、我慢比べの状態となりました。その後、一進一退の攻防が続きましたが、要所要所でポイントを重ねられ、最後までペースをつかめないまま押し切られました。佐藤さんはこの大会で卒部となるため、悔しい思いが残ったようですが、夏の大会から2期連続での県大会出場は快挙です。後輩たちが続いてくれることを願っています。お疲れ様でした。（顧問：赤木 栄造）

高校なぎなた

R 6 年度大分県高等学校新人なぎなた競技大会

11月3日（日）にレゾナック武道スポーツセンターで行われ、

4年2組 大塚瑞姫 さんが参加しました。

◆演技競技：大塚瑞姫（岩田）・松村日夏子（大分南）組 予選Dリーグ 3位/4組（1勝2敗）予選敗退

◆個人試合女子：大塚瑞姫（岩田） 予選Eリーグ 2位/3人（1勝1敗）予選敗退

演技競技は2人1組で攻防を演じます。ペアの松村さんも高校1年生で、大塚さんと同じ学校外の教室で習っている選手です。大分西の男子ペアに勝利しましたが、大分西、福德学院のそれぞれ女子ペアに敗れて予選敗退となりました。

女子個人戦は8組に分かれてのリーグ戦が行われ、各組1位の選手が決勝トーナメントに進出するという形式で行われました。

大塚さんは大分西の選手に判定勝ちしましたが、今回準優勝した同じく大分西の選手に敗れ、惜しくも予選敗退となりました。まだ1年生であり、今後の躍進が期待できます。会場には辰口寮監長も応援に来て下さいました。ありがとうございます。（顧問：橋本 隆史）

～保健室より～

★5年生保健委員さんリーダー研修★

5年生は、保健委員長・亀山さんの企画で全体研修を12月に実施します。研修に先駆けて、講師の先生をお招きし、5年生保健委員さん9名のリーダー研修を行いました。全体の研修では、この9名がリーダーとなり、5年生全体をまとめる役となります。本番当日は、盛り上げていけるよう頑張りましょう！！



～教育実習を終えて～



この度、教育実習生として3週間お世話になりました。中学2年生の国語を担当させていただきましたが、私の不慣れな授業にも関わらず、生徒の皆さんが一生懸命に取り組んでくれている姿や真剣な眼差しがとても嬉しかったです。不安だった研究授業も、2年1組の一人ひとりの存在が心強く、最後までやりきることができました。また、休み時間や掃除中におしゃべりをしたり、放課後に控え室へ遊びに来てくれたり、一緒にサッカーをしたりと、一瞬一瞬がかけがえのない思い出です。41回生のみんな、ありがとうございました！！そして、丁寧な指導や温かな言葉をくださった先生方にも、心より感謝申し上げます。

私が卒業した34回生の学年テーマは「見たことのない景色を見にいこう」でした。高校時代の私はちょっぴりひねくれていたもので、「別にわざわざ動かなくたって

景色は移ろい変わるし、立ち止まっているからこそ気づくものだってあるでしょ」なんて考えていました。正直なところ、行動を起こすことで今あるものを失いかねないことが怖かったのです。しかし、この3週間でたくさんの見たことのない景色をこの目で見て、この心で感じることができました。その中で「ちょっと前へ進んでみようかな」と思える勇気を、優しい生徒の皆さんや先生方からいただきました。これからは、ゆっくりでも一歩ずつ踏み出して、見たことのない景色をもっと見にいきたいと思います。そして、皆さんから受け取った勇気や優しさを誰かに分け与えられるような人間を目指して頑張ります。

輝かしい3週間をありがとうございました。

34回生 板山 蒼空

表彰

★第8回高校生東南アジア小論文コンテスト
学校奨励賞

★第39回 大分県私立高等学校体育大会
テニス競技 女子団体戦 第3位
5-1 穴井 和心
5-2 阿南 幸葉
5-4 白水 麻梨南, 都甲 すみれ
4-1 金子 彩音

★第43回全国豊かな海づくり大会
入選 中学校の部
2-2 矢野 功一郎

★令和6年度「税についての作文」
全国納税貯蓄組合連合会会長賞
3-2 鷲野 優
『税金を納める本当の意味』

★大分小売酒販組合理事長賞
3-3 賀来 美怜
『安全な社会をみんなで守る』

★R6年度大分市地産地消標語コンクール
大分市地産地消大賞
2-2 月村 天紀

★第75回毎日書道展U23
入選 漢字部Ⅱ類
5-2 野村 心春

★「全国小・中学生作文コンクール」
優秀賞 1-1 桐谷 玲
3-2 中山 ダリア
佳作 2-1 安部 光 増田 凜
2-2 矢野 功一郎

★レモネードスタンドジャパンより感謝状を頂きました。



学校評価アンケート(保護者対象)の実施について

教頭 山月 秀夫

教育活動をより一層充実させるため、本校では毎年、行事や学期の節目に生徒や保護者の皆様を対象としたアンケートを実施しております。アンケートは、目的や内容に応じて「記名方式」と「無記名方式」の2つを使い分けています。

具体的には、生徒対象の『授業評価アンケート』は記名方式を採用し、一方で『生活アンケート』は原則として無記名方式で実施しています。また、保護者の皆様を対象とした『学校評価アンケート』については、記名方式と無記名方式を3年に1回

の割合で切り替え、記名方式：無記名方式を2：1の比率で実施しております。本年度は記名方式での実施となります。

いただいた評価やご意見は、今後の教育活動の改善・向上に役立ててまいります。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、アンケートへのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

配信は11月30日(土)、回答期限は12月14日(土)です。

その他のお知らせ

令和6年11月1日 道路交通法の改正
自転車の危険な運転に
新しく罰則が整備されました

運転中のながらスマホ
スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながら通話する行為、画像を注視する行為が新たに禁止され、罰則の対象となりました。
違反者は、
6月以下の懲役又は10万円以下の罰金
交通の危険を生じさせた場合、
1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

酒気帯び運転および補助
自転車の酒気帯び運転のほか、酒類の提供や同乗・自転車の提供に対して新たに罰則が整備されました。
違反者は、
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
自転車の提供者は、
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
酒類の提供者・同乗者は、
2年以下の懲役又は30万円以下の罰金

「運転中のながらスマホ」、「酒気帯び運転」は自転車運転者講習制度の対象になります。
自転車運転者講習制度
自転車の運転に関し、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反(危険行為)を反復して行った者は講習制度の対象となります。※講習料5000円、5000円以下の罰金
危険行為 信号無視、指定場所一時不停止、進路変更切立入り、安全運転義務違反、通行区分違反 など

重大事故を防ぐため、交通ルールを遵守しましょう。

自転車のスマホ・酒気帯び
罰則強化

ダメ!!
ながらスマホ
酒気帯び運転
ダメ!!

令和6年11月1日
道路交通法改正

自転車運転中の新たな罰則
危険運転行為 最大1年以下の懲役又は30万円以下の罰金
酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

大分県警察

* 学園祭DVD・BDの購入申し込みは、
11/30配信のBlendアンケートにて
承ります。
購入を希望される方は、
12/10(火)までにお申し込みください。

12月の行事予定

12/2(月)～12/5(木) 期末考査
12/7(土) 休業日
病院研修 (3年医進)
12/11(水) 答案返却
12/12(木) 中2・中3クラスマッチ
12/14(土) 中1クラスマッチ
12/13(金) 高1・高2クラスマッチ
12/16(月) 職員会議
12/23(月) 終業式

現在フォロワー数1520名
ついに、1500名を突破!



〒870-0936
大分市岩田町1-1-1
学校法人岩田学園

電話 097(558)3007
Fax 097(556)8937
Email iwata@iwata.ed.jp
HP <https://www.iwata.ed.jp>



Instagram



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校